



設置された常設販売コーナーをPRする生徒と
ミナモ 恵那市大井町、バロー恵那店

ミナモ工房製品を販売

バロー 特別支援学校生が製作
恵那店

県立恵那特別支援学校(恵那市岩村町)の生徒らが作る「ミナモ工房製品」の常設販売コーナーが13日、恵那市大井町のバロー恵那店1階に設けられ、販売が始まった。

同校高等部は昨年、「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター「ミナモ」がデザインされた製品を作る「ミナモ工房」として県か

バロー恵那店の協力で、同店が製品を買い取り販売する。特別支援学校で作られる工房製品が商業施設で常設販売されるのは県内で初めて。

サービスカウンターの一角にコーナーを設置。高等部1～3年の木工、窯業班が製作したまな板をはじめ、組み木やコースター、カップなど10品目を陳列。100円～千円(税別)で販売している。

高等部3年の山口裕大君(18)は「常設コーナーができたことは製作の励みになり、うれしい。たくさん売れてくれれば」と期待している。同校は今後、工房製品を開発して、品目を増やしていくという。

(長尾剛次)